



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月8日

上場会社名 東京テアトル株式会社  
 コード番号 9633 URL <https://www.theatres.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月8日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 太田 和宏  
 (氏名) 松岡 毅  
 TEL 03-3355-1010

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	11,481	24.3	160		496	43.3	473	55.1
2022年3月期第3四半期	9,235	9.3	324		875		1,053	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 555百万円 ( 48.2%) 2022年3月期第3四半期 1,072百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	64.05	
2022年3月期第3四半期	139.99	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	23,740	12,330	51.8	1,683.48
2022年3月期	23,927	12,050	50.2	1,608.65

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 12,288百万円 2022年3月期 12,016百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		10.00	10.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,100	23.3	100		300	57.4	200	75.8	26.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	8,013,000 株	2022年3月期	8,013,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	713,554 株	2022年3月期	543,178 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	7,385,709 株	2022年3月期3Q	7,529,033 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、四半期決算短信[添付資料]3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

2023年3月期第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日、以下「当四半期(累計)」)といひます。)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染対策と制限緩和の両立が進み、経済社会活動が正常化へ向かう中で景気は緩やかに回復いたしました。一方、資源価格や原材料価格の高騰、供給制限や人手不足の深刻化、世界的な金融引き締めによる海外景気の下振れリスクが懸念される等、先行きは極めて不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当四半期(累計)の連結業績は、飲食事業及び中古マンション再生販売事業の大幅な増収により売上高11,481百万円(前年同期比24.3%増)、営業利益は160百万円(前年同期は営業損失324百万円)となりました。しかし新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う助成金収入が減少したことから経常利益は496百万円(前年同期比43.3%減)、前年同期は固定資産売却益の計上があったことから親会社株主に帰属する四半期純利益は473百万円(前年同期比55.1%減)となりました。

## ■連結経営成績(百万円)

	前年同期	当四半期(累計)	増減
売上高	9,235	11,481	+2,246
営業利益	△324	160	+484
経常利益	875	496	△379
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,053	473	△580

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

## ■セグメント別外部売上高(百万円)

	前年同期	当四半期(累計)	増減
映像関連事業	2,550	2,554	+4
飲食関連事業	2,450	3,658	+1,207
不動産関連事業	4,234	5,269	+1,034
計	9,235	11,481	+2,246

## ■セグメント別営業利益(百万円)

	前年同期	当四半期(累計)	増減
映像関連事業	15	△102	△118
飲食関連事業	△634	△59	+575
不動産関連事業	789	851	+62
調整額	△494	△529	△35
計	△324	160	+484

## &lt;映像関連事業&gt;

## (映画興行事業)

2022年3月にまん延防止等重点措置が解除され、当四半期(累計)は通常営業が行えたことや『希望と絶望 その涙を誰も知らない』『さかなのこ』『ケイコ 目を澄ませて』などが高稼働し、前年同期比では大幅な増収となりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準までは回復しませんでした。

当四半期末の映画館数及びスクリーン数は、「テアトル梅田」が2022年9月30日に閉館したことから前年度末から1館2スクリーン減少し、8館21スクリーンです。

## (映画制作配給事業)

堅調なアジアドラマ市場により、字幕版制作・DVD制作の受注が拡大いたしました。映画配給作品は『それいけ!アンパンマン ドロリンとバケ〜るカーニバル』『さかなのこ』『窓辺にて』などが好成績を収めたものの、全体として低調であったことや、2021年1月に公開され大ヒットロングラン上映となった『花束みたいな恋をした』の配給収入及び出資配分金の反動減により、前年同期比で大幅な減収となりました。

**(ソリューション事業)**

経済活動が再開し、行動制限が緩和される中で、シネアド、イベントプロモーション等の屋外広告の需要が徐々に戻り始め、前年同期比で大幅な増収となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は2,554百万円（前年同期比0.2%増）となりましたが、映画制作配給事業の減益により営業損失102百万円（前年同期は営業利益15百万円）となりました。

**<飲食関連事業>****(飲食事業)**

居酒屋業態は法人の宴会需要と夜遅くの客足が依然厳しいものの、酒類提供店に休業要請が続いた前年同期からの反動増により、前年同期比で大幅な増収となりました。

**■飲食店の店舗数**

	前年度末	当四半期末	増減
焼鳥専門店チェーン「串鳥」	38	38	0
都内ダイニングバー	5	5	0
その他	4	4	0
飲食店 合計	47	47	0

※2022年8月2日に新業態となる「濃厚海老ラーメン シュリンプリーム」が、同年9月21日に「串鳥」新寺店が開店いたしました。また2022年7月29日に「ワイン酒場 TANTO」が、同年9月15日に「串鳥」東武宇都宮駅店が開店いたしました。

以上の結果、飲食関連事業の売上高は3,658百万円（前年同期比49.3%増）となり、営業損失は59百万円（前年同期は営業損失634百万円）に縮小いたしました。

**<不動産関連事業>****(不動産賃貸事業)**

賃貸ビルは高稼働と、賃料相場が下落する中でもコロナ禍以前の賃料水準を維持し、前年同期並みの売上高となりました。

**(中古マンション再生販売事業)**

中古マンション再生販売は、市場価格の高騰を受けマンション販売単価が上昇したことや、首都圏における成約件数が落ち込む中、積極的な営業活動により販売件数も伸長し、前年同期比で大幅な増収となりました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は5,269百万円（前年同期比24.4%増）、営業利益は851百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

**(2) 財政状態に関する説明****(資産の部)**

資産合計は、前年度末と比べて186百万円減少し、23,740百万円となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が262百万円増加したこと、販売用不動産が1,169百万円増加したこと、現金及び預金が1,755百万円減少したこと等によるものです。

**(負債の部)**

負債合計は、前年度末と比べて466百万円減少し、11,410百万円となりました。これは、有利子負債が350百万円減少したこと等によるものです。

**(純資産の部)**

純資産合計は、前年度末と比べて279百万円増加し、12,330百万円となりました。これは、利益剰余金が398百万円増加したこと、自己株式の取得200百万円を行ったこと等によるものです。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

2023年3月期の連結業績予想につきましては、今後の経済情勢や景気動向等の先行きに不透明感もあり、現時点では、前回予想数値を据え置き、修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,729,141	1,973,472
受取手形、売掛金及び契約資産	470,866	732,976
商品	559,451	376,138
販売用不動産	1,959,705	3,129,645
貯蔵品	22,351	34,092
その他	715,025	942,322
貸倒引当金	△354	△743
流動資産合計	7,456,187	7,187,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,886,926	3,760,162
機械装置及び運搬具(純額)	13,567	24,349
工具、器具及び備品(純額)	188,601	211,040
土地	9,783,117	9,783,117
リース資産(純額)	10,865	4,426
建設仮勘定	7,294	64,640
有形固定資産合計	13,890,372	13,847,737
無形固定資産		
借地権	34,237	34,237
ソフトウェア	36,526	23,925
その他	3,995	3,995
無形固定資産合計	74,759	62,158
投資その他の資産		
投資有価証券	2,007,622	2,112,771
差入保証金	391,605	397,049
繰延税金資産	15,461	42,597
その他	164,823	117,268
貸倒引当金	△73,788	△26,679
投資その他の資産合計	2,505,725	2,643,007
固定資産合計	16,470,857	16,552,903
資産合計	23,927,045	23,740,806

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	917,764	955,674
短期借入金	60,000	610,667
1年内償還予定の社債	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,312,327	1,245,132
リース債務	15,381	7,077
未払金	483,439	437,936
未払法人税等	102,707	39,518
前受金	120,732	171,655
賞与引当金	164,568	88,433
その他	579,148	531,537
流動負債合計	3,956,069	4,087,632
固定負債		
長期借入金	4,244,797	3,626,899
リース債務	9,122	1,126
長期未払金	1,787	1,508
長期預り保証金	808,439	796,069
繰延税金負債	585,293	613,966
再評価に係る繰延税金負債	850,717	850,717
退職給付に係る負債	965,343	991,577
資産除去債務	455,172	441,145
固定負債合計	7,920,674	7,323,009
負債合計	11,876,744	11,410,641
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,737,647	3,737,647
利益剰余金	2,367,544	2,765,903
自己株式	△786,602	△987,512
株主資本合計	9,871,229	10,068,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262,714	337,393
土地再評価差額金	1,882,373	1,882,373
その他の包括利益累計額合計	2,145,088	2,219,767
非支配株主持分	33,983	41,719
純資産合計	12,050,301	12,330,165
負債純資産合計	23,927,045	23,740,806

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	9,235,360	11,481,756
売上原価	6,811,095	8,242,232
売上総利益	2,424,265	3,239,524
販売費及び一般管理費		
役員報酬	178,581	176,587
広告宣伝費	18,365	25,801
人件費	1,552,752	1,701,016
賞与引当金繰入額	48,257	58,022
退職給付費用	18,919	69,341
賃借料	259,909	235,575
水道光熱費	101,594	131,436
貸倒引当金繰入額	—	2,068
その他	570,744	679,581
販売費及び一般管理費合計	2,749,125	3,079,431
営業利益又は営業損失(△)	△324,860	160,093
営業外収益		
受取利息	51	11
受取配当金	67,733	75,103
保険解約返戻金	75,316	—
助成金収入	1,071,583	236,791
貸倒引当金戻入額	16,873	48,788
その他	14,610	15,575
営業外収益合計	1,246,167	376,268
営業外費用		
支払利息	40,447	35,238
借入関連費用	3,811	2,990
その他	1,439	1,956
営業外費用合計	45,698	40,184
経常利益	875,609	496,177
特別利益		
固定資産売却益	403,697	—
受取補償金	44,307	—
資産除去債務戻入益	—	52,189
特別利益合計	448,004	52,189
特別損失		
固定資産除却損	32,421	15,549
事業所閉鎖損失	2,995	13,027
事業所閉鎖損失引当金繰入額	11,495	—
特別損失合計	46,912	28,577
税金等調整前四半期純利益	1,276,701	519,790
法人税、住民税及び事業税	155,797	68,045
法人税等調整額	61,259	△29,048
法人税等合計	217,056	38,997
四半期純利益	1,059,644	480,792
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,687	7,735
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,053,957	473,056



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,059,644	480,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,294	74,678
その他の包括利益合計	13,294	74,678
四半期包括利益	1,072,939	555,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,067,252	547,735
非支配株主に係る四半期包括利益	5,687	7,735

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。